

# 平成30年度PRTRデータの概要(島根県)について

## －化学物質の排出量・移動量の集計結果－

令和2年5月22日  
島根県環境生活部廃棄物対策課

化学物質による環境の保全上の支障を未然に防止するためには、定期的に化学物質の排出等の状況を把握し、化学物質を取り扱う事業者の自主的な化学物質の管理の改善を促進することが必要です。

このため、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化学物質排出把握管理促進法）に基づき、化学物質排出移動量届出制度（いわゆる「PRTR制度」）が導入されました。

人の健康や生態系に有害なおそれがある等の性状を有する化学物質（第一種指定化学物質）について、平成14年度から、一定の要件（業種や当該化学物質の取扱量等）に該当する事業者は、環境中への排出量や廃棄物としての移動量を届け出ることになりました。あわせて、国では、届出の対象とならない他の排出源からの排出量を、想定される主要な排出源を対象に利用可能な知見に基づき推計しています。

また、平成22年4月に法改正が行われ、第一種指定化学物質については354種類から462種類に拡大（うち、発がん性等が認められる特定第一種指定化学物質は12種類から15種類に拡大）され、届出対象業種に医療業が追加され、平成23年度（平成22年度把握分）から新たに届け出ることになりました。

国は、平成30年度中の全国の排出量・移動量等の集計結果を3月19日に公表しましたが、このうち島根県内の排出量・移動量等の概要を取りまとめたので公表します。

なお、届出排出量・移動量は、必ずしも全てが実測値に基づくものではなく、届出外排出量は、現時点で利用可能な信頼できる知見に基づき推計を行っているため、その精度には一定の限界があります。

また、この資料に記載している数値は小数点以下を四捨五入により端数処理しています。

なお、国の公表内容につきましては、以下のホームページを御覧ください。

**環 境 省** 制度の概要、公表内容、開示手続の方法等：

<https://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

**経 済 産 業 省**

[https://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/index.html)

## 概要 1. 平成 30 年度の状況

島根県内の届出事業所数、事業所からの排出量・移動量、届出対象外の排出量（対象業種からの届出対象外の排出量、非対象業種からの排出量、家庭からの排出量、自動車などの移動体からの排出量）については、次のとおりです。

### 全国集計からみた島根県の状況

	全国計	島根県	全国に占める割合	都道府県別順位
届出件数（件）	33,669	259	0.77%	44
届出排出量（kg/年）	148,188,493	2,280,188	1.54%	24
届出移動量（kg/年）	243,153,429	1,129,571	0.46%	34
届出排出量と移動量の合計（kg/年）	391,341,922	3,409,760	0.87%	30
届出外排出量（kg/年）	221,047,016	1,678,800	0.76%	46
届出排出量と届出外排出量の合計（kg/年）	369,235,509	3,958,988	1.07%	37

（参考）ダイオキシン類については、重量(kg)ではなく、毒性等量(mg-TEQ)による把握のため、上記の集計値には含まない。

ダイオキシン類の届出排出量と届出外排出量の合計（mg-TEQ/年）	240,380	565	0.24%
-----------------------------------	---------	-----	-------

## 概要 2. 平成 29 年度との比較

平成 29 年度データと平成 30 年度データを比較した結果は以下のとおりです。

### ○届出のあった化学物質の種類数

平成 29 年度は 84 種類、平成 30 年度は 80 種類であり、4 種類の減少でした。

### ○届出のあった事業所数比較

平成 29 年度は 257、平成 30 年度は 259 であり、2 事業所の増加でした。

### ○届出排出量・移動量比較

平成 30 年度の届出排出量は、前年度比で、全体として 7.2%（178 トン）減少となりました。

その内訳は、大気への排出が 5.5%（129 トン）、公共用水域への排出が 44.3%（49 トン）それぞれ減少となっています。

また、平成 30 年度の届出移動量は、前年度比で、全体として 27.0%（419 トン）減少しました。これは、主として廃棄物としての事業所外への移動の減少によるものです。

この結果、届出排出量・移動量の合計では 14.9%（596 トン）減少しました。

## 1. 排出量・移動量の届出状況

平成30年度の排出量・移動量について、島根県では、23業種にわたる259の事業所から届出がありました。島根県の業種別届出状況は以下のとおりです。

### 業種別の届出状況（集計対象：H30年度）

（単位：事業所）

業種	届出数	業種	届出数
金属鉱業		武器製造業	
原油・天然ガス鉱業		その他の製造業	
製造業	71	電気業	4
食料品製造業		ガス業	
飲料・たばこ・飼料製造業		熱供給業	
繊維工業		下水道業	39
衣服・その他の繊維製品製造		鉄道業	
木材・木製品製造業		倉庫業	
家具・装備品製造業		石油卸売業	2
パルプ・紙・紙加工品製造業	2	鉄スクラップ卸売業	
出版・印刷・同関連産業		自動車卸売業	
化学工業	5	燃料小売業	112
石油製品・石炭製品製造業	11	洗濯業	1
プラスチック製品製造業	7	写真業	
ゴム製品製造業	2	自動車整備業	
なめし革・同製品・毛皮製造		機械修理業	
窯業・土石製品製造業	6	商品検査業	
鉄鋼業	8	計量証明業	
非鉄金属製造業	1	一般廃棄物処理業	24
金属製品製造業	5	産業廃棄物処分業	3
一般機械器具製造業	7	医療業	
電気機械器具製造業	5	高等教育機関	1
輸送用機械器具製造業	10	自然科学研究所	2
船舶製造・修理業、船舶機関製造業	1		
精密機械器具製造業			
医療用機械器具・医療用品製造業	1		
		合 計	259

## 2. 集計結果の概要

### (1) 届出排出量・移動量

#### ① 全事業所及び全物質の届出排出量・移動量

平成 30 年度の届出排出量及び移動量の合計 3,410 トンの内訳は次のとおりでした。

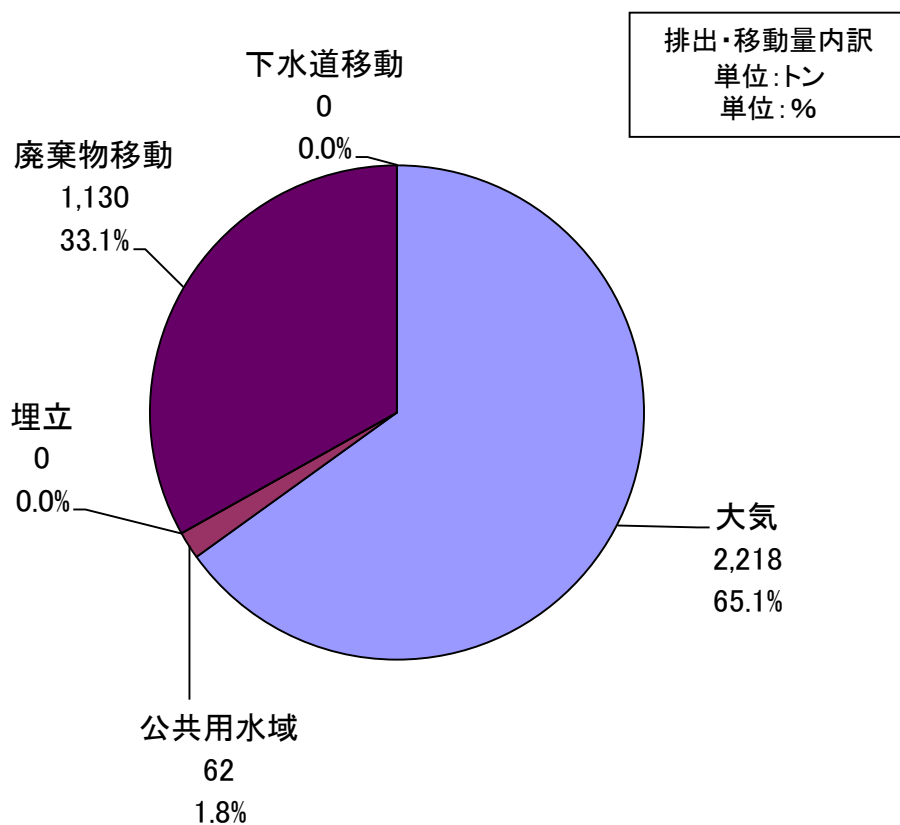
環境への排出量(2,280 トン、66.9%)の内訳

- ・ 大気への排出
- ・ 公共用水域への排出

事業所外への移動量(1,130 トン、33.1%)の内訳

- ・ 廃棄物としての移動
- ・ 下水道への移動

### 届出排出量・移動量



② 全事業所の届出排出量及び移動量の合計の多い物質

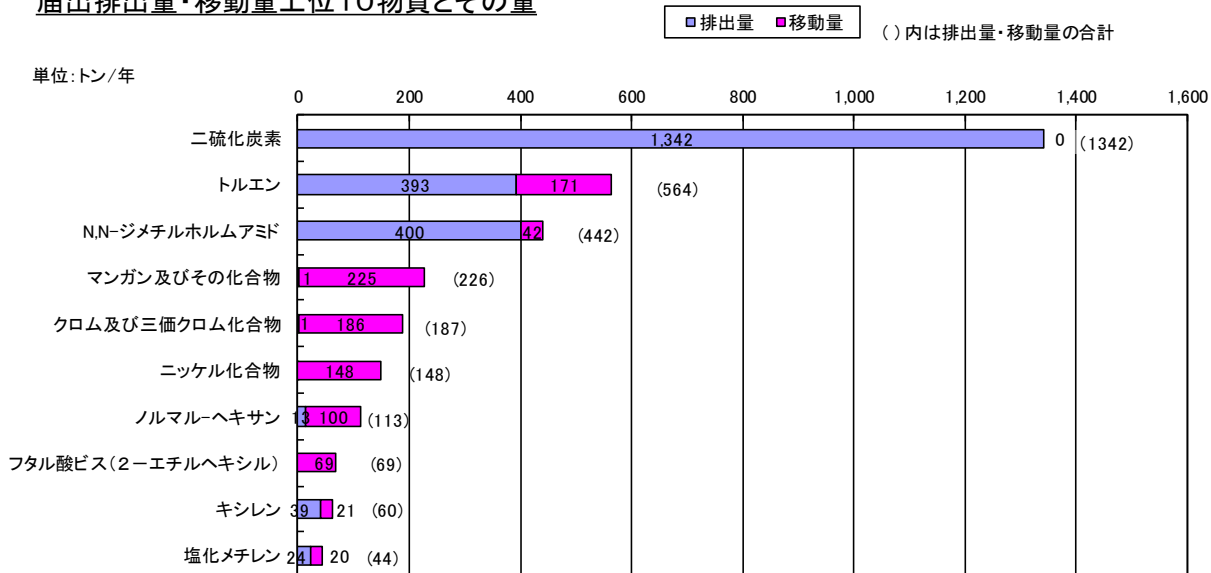
平成 30 年度の届出排出量及び移動量の上位 10 物質の合計は 3,195 トンで、届出排出量及び移動量の総量 3,410 トンの 93.7%に当たります。

上位 5 物質は、

- ① 二硫化炭素（合成原料や溶剤として幅広く用いられる）
- ② トルエン（合成原料や溶剤として幅広く用いられる）
- ③ N，N-ジメチルホルムアミド（溶剤・試薬などに用いられる）
- ④ マンガン及びその化合物（鉄鋼製品の添加剤等として用いられる）
- ⑤ クロム及び三価クロム化合物（特殊鋼等の原料やメッキとして用いられる）

の順となっています。

届出排出量・移動量上位10物質とその量



### ③ 環境への届出排出量

環境への排出量の上位 10 物質の合計は 2,255 トンで、総量 2,280 トンの 98.9%に当たります。

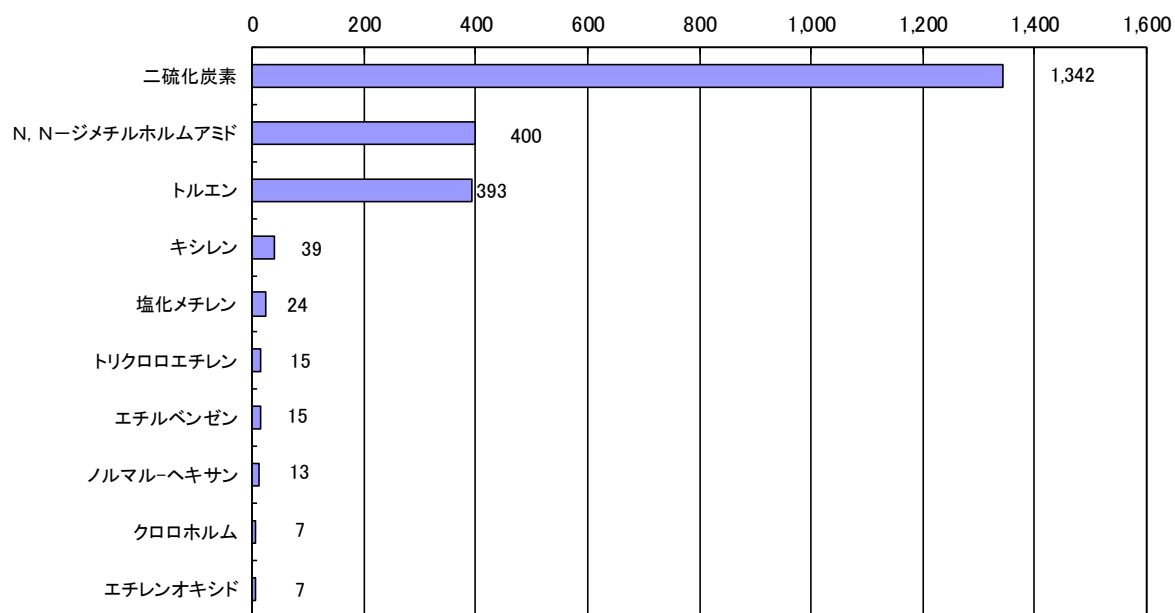
上位 5 物質は、

- ① 二硫化炭素（合成原料や溶剤などに用いられる）
- ② N, N-ジメチルホルムアミド（溶剤・試薬などに用いられる）
- ③ トルエン（合成原料や溶剤として幅広く用いられる）
- ④ キシレン（着色剤や溶剤などに用いられる）
- ⑤ 塩化メチレン（金属部品や電子部品の加工段階で用いられる）

の順となっています。

環境への排出量上位10物質とその排出量

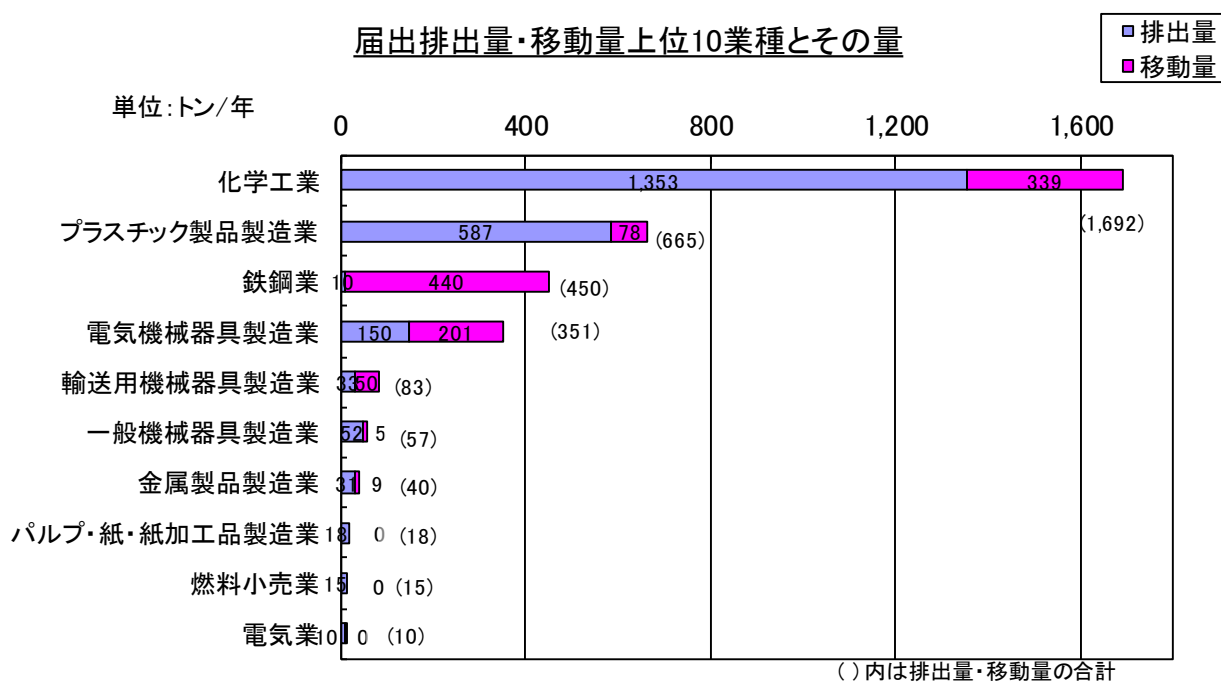
単位:トン/年



④ 業種別の届出排出量・移動量

届出のあった製造業 14 業種の排出量・移動量の合計は 3,404 トンで、届出のあった全 23 業種（製造業 14 業種、非製造業 9 業種）の排出量・移動量全体（3,410 トン）の 99.8%を占めます。

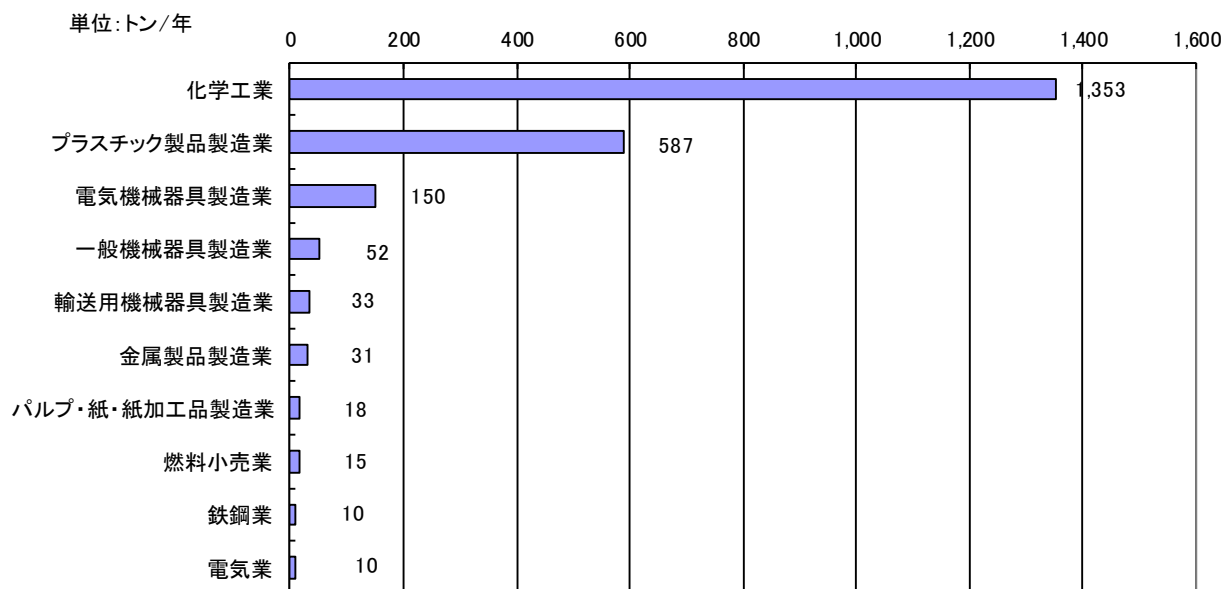
また、排出量・移動量の上位 10 業種の合計は 3,381 トンで、全体の 99.1%を占めます。



### ⑤ 業種別の届出排出量

届出のあった製造業 14 業種の排出量の合計は 2,275 トンで、届出のあった全 23 業種（製造業 14 業種、非製造業 9 業種）の排出量全体（2,280 トン）の 99.8%を占めます。  
また、排出量の上位 10 業種の合計は 2,259 トンで、全体の 99.1%を占めます。

#### 届出排出量上位10業種とその排出量

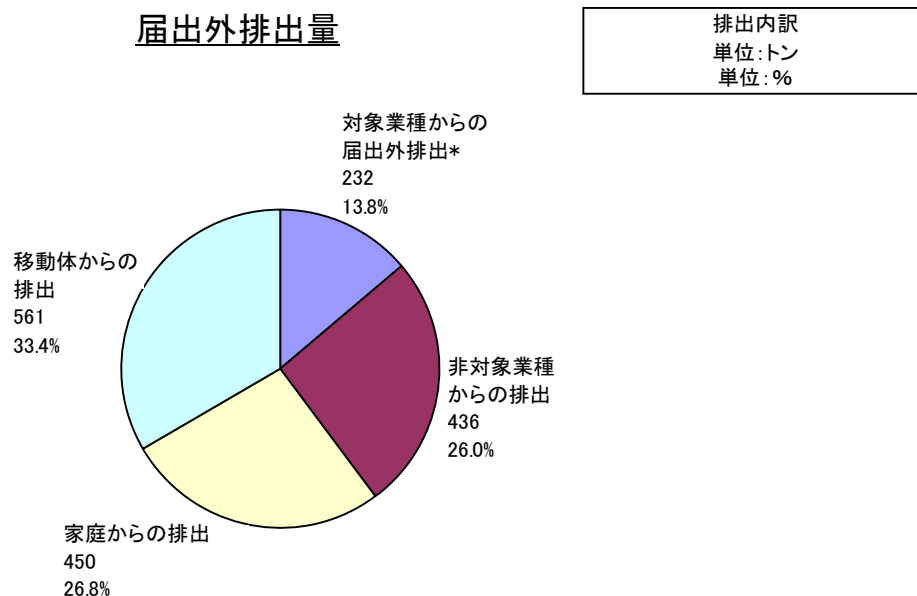




## (2) 届出外排出量

### ① 全物質の届出外排出量

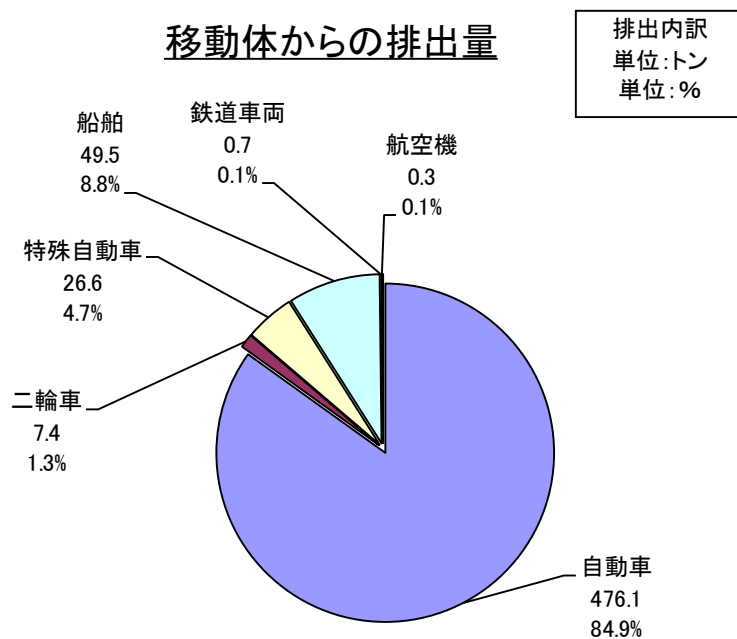
経済産業省及び環境省が推計を行った、平成 30 年度の島根県の届出外排出量の合計 1,679 トンの内訳は次のとおりでした。



\*対象業種に属する事業を営む事業者からの排出量であるが、従業員数、取扱量その他の要件を満たさないため届出対象とならないもの。

### ② 移動体からの届出外排出量

移動体からの排出量 (561 トン) の内訳は、次のとおりでした。



### ③ 届出外排出量の多い物質

届出外排出量の上位 10 物質の合計は 1,319 トンで、全体 (1,679 トン) の 78.6% に当たります。

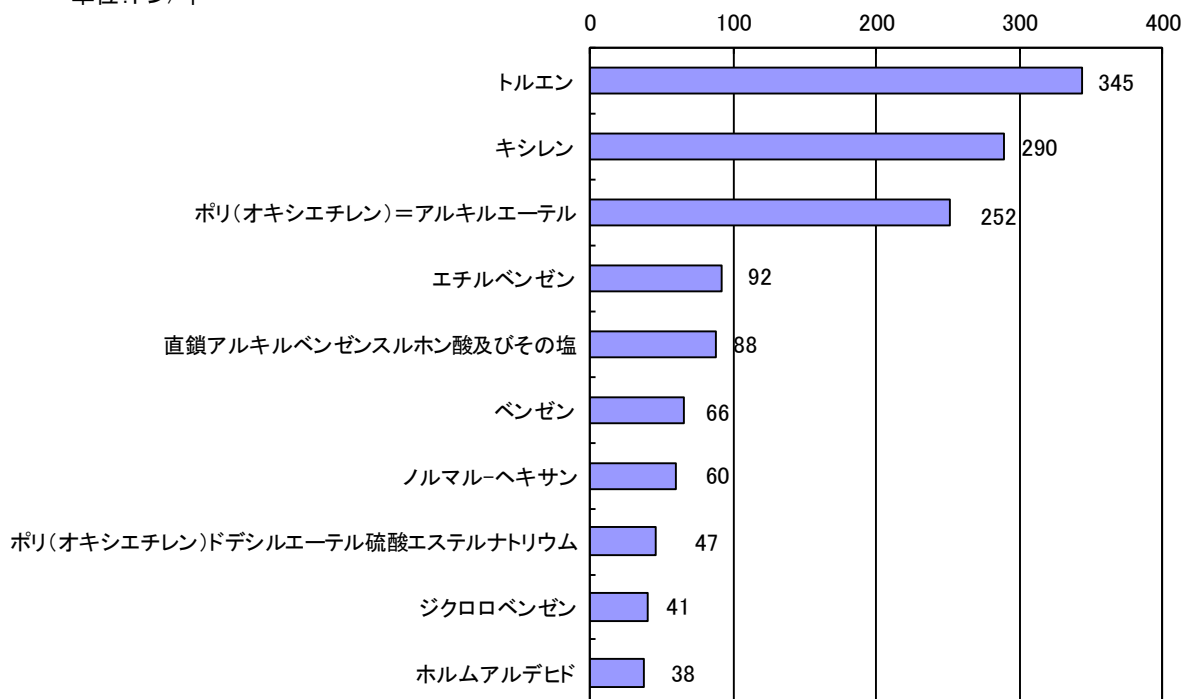
届出外排出量の多い上位 5 物質は、

- ① トルエン  
(溶剤・合成原料に用いられる他、自動車などの排出ガス、接着剤・塗料等に含まれる)
- ② キシレン  
(溶剤・合成原料に用いられる他、自動車などの排出ガス、接着剤・塗料等に含まれる)
- ③ ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル  
(洗浄剤・化粧品などに用いられる)
- ④ エチルベンゼン  
(溶剤・合成原料などに用いられる)
- ⑤ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩  
(洗浄剤などの界面活性剤に用いられる)

の順となっています。

### 届出外排出量の上位10物質とその排出量

単位:トン/年

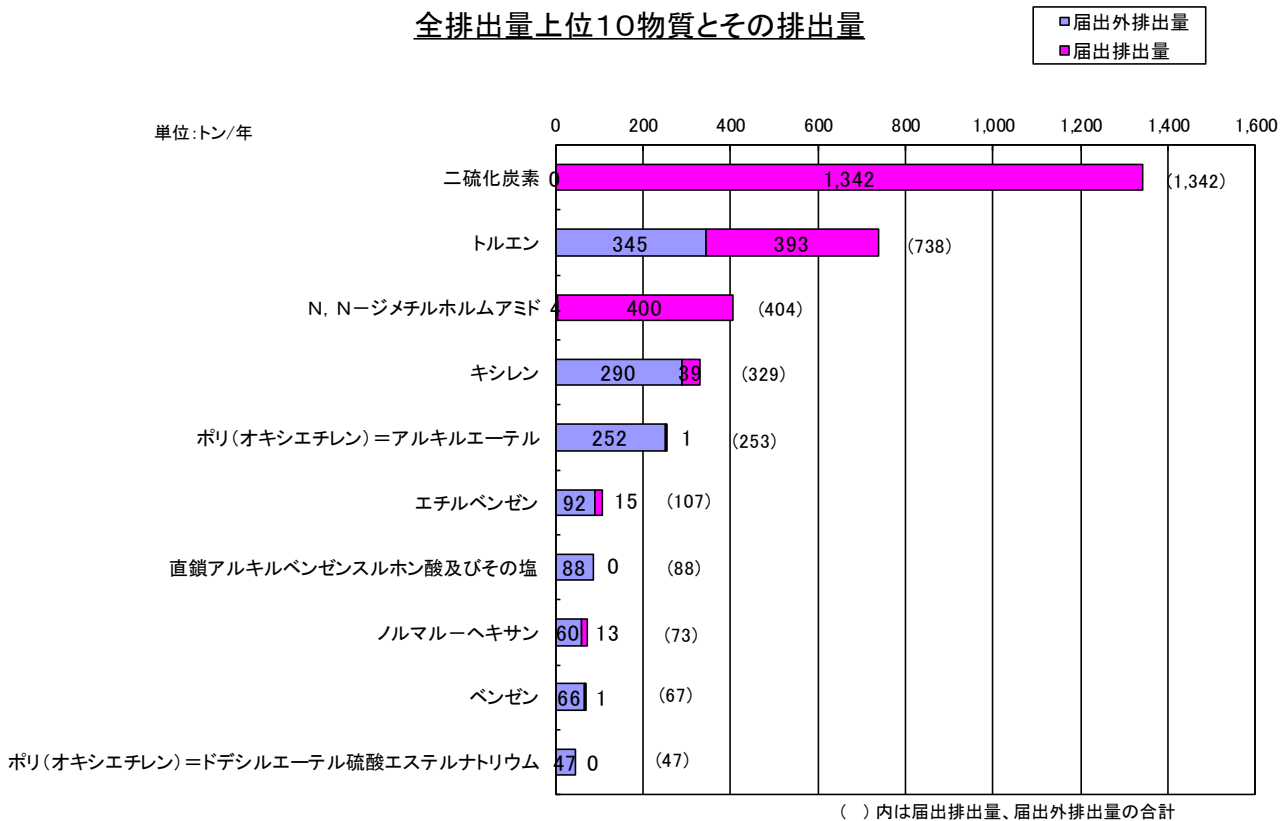


### (3) 届出排出量及び届出外排出量の合計

届出排出量（2,280トン）及び届出外排出量（1,679トン）を合計した全排出量（3,959トン）の物質別の内訳では、上位5物質は、

- ① 二硫化炭素（合成原料や溶剤などに用いられる）
  - ② トルエン  
（溶剤・合成原料に用いられる他、自動車などの排出ガス、接着剤・塗料等に含まれる）
  - ③ N, N-ジメチルホルムアミド（溶剤・試薬などに用いられる）
  - ④ キシレン  
（溶剤・合成原料に用いられる他、自動車などの排出ガス、接着剤・塗料等に含まれる）
  - ⑤ ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（洗浄剤・化粧品などに用いられる）
- の順となっています。

全排出量上位10物質とその排出量



#### (4) 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質は、462種類の第一種指定化学物質のうち、15物質ありますが、島根県内では9物質について届出があり、ダイオキシン類を除く8物質の届出排出量・移動量の合計は156トンでした（全国の合計の16,291トンに対し0.96%）。

上位3物質は、

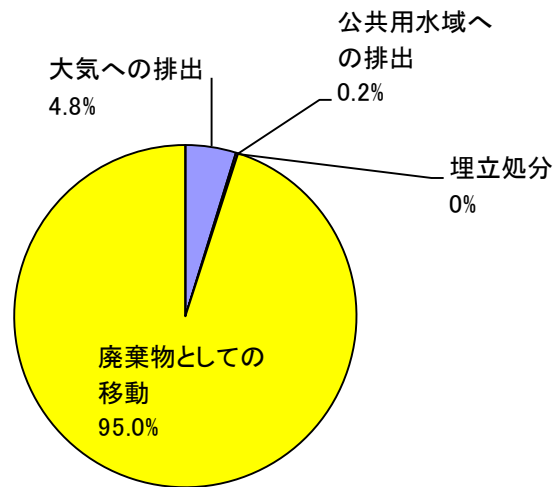
- ① ニッケル化合物 : 148トン
- ② エチレンオキシド : 6.6トン
- ③ ベンゼン : 0.9トン

の順となっています。

また、ダイオキシン類の届出排出量・移動量の合計は3,820mg-TEQでした（全国の合計の1,514,331mg-TEQに対して0.25%）。

また、特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の合計に対する排出先割合は、次のとおりとなっています。

特定第一種指定化学物質の排出先



## (5) 市町村別 届出排出量・移動量

県内各市町村の届出排出量・移動量の集計結果は以下のとおりです。

### 各市町村の集計結果

(単位: kg)

市町村	届出件数 (件)	届出排出量	届出移動量	届出排出量・移動 量計
松江市	66	52,922	28,340	81,262
浜田市	21	13,148	5,975	19,123
出雲市	47	203,090	575,902	778,992
益田市	20	1,502,655	25,590	1,528,245
大田市	19	437,848	55,511	493,359
安来市	17	10,168	434,372	444,540
江津市	14	18,365	40	18,405
雲南市	13	9,883	1,764	11,647
奥出雲町	6	29,374	1,026	30,400
飯南町	1	31	0	31
川本町	3	82	0	82
美郷町	2	24	0	24
邑南町	9	408	660	1,068
津和野町	4	129	0	129
吉賀町	3	376	392	768
海士町	2	0	0	0
西ノ島町	4	277	0	277
知夫村	0	0	0	0
隠岐の島町	8	1,409	0	1,409
合計	259	2,280,189	1,129,572	3,409,761

### ダイオキシン類の集計結果

(単位: mg-TEQ)

市町村	届出件数 (件)	届出排出量	届出移動量	届出排出量・移動 量計
松江市	13	11	2,840	2,851
浜田市	1	15	38	53
出雲市	5	27	119	146
益田市	0	0	0	0
大田市	3	0	0	0
安来市	4	0	0	0
江津市	2	1	30	31
雲南市	1	1	0	1
奥出雲町	0	0	0	0
飯南町	0	0	0	0
川本町	1	207	0	207
美郷町	0	0	0	0
邑南町	0	0	0	0
津和野町	0	0	0	0
吉賀町	0	0	0	0
海士町	1	0	0	0
西ノ島町	1	11	0	11
知夫村	0	0	0	0
隠岐の島町	1	170	350	520
合計	33	443	3,377	3,820

※届出件数は、「各市町村の集計結果」の内数

## (6) 届出排出量・移動量の経年変化

島根県内の届出排出量・移動量の経年変化は以下のとおりです。

